

立命館大学技術士会 第16回総会 ご案内

令和 7年(2025年) 4月吉日
立命館大学技術士会 会長 土屋光弘

立命館大学技術士会会員各位

前略、会員の皆様方には如何お過ごしでしょうか？

さて、立命館大学技術士会は、2009年12月の設立以降、16年間その活動を継続してきました。これもひとえに会員皆様のご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

この間、当会では①会員相互の親睦②大学の発展に貢献③会員の技術レベルの向上と会の発展・拡大④技術士を目指す母校後進への支援⑤地域および社会活動への技術支援、助言等を志向するなど、その活動も定着してきました。

また、設立当初から技術士の受験指導を毎年継続し、延べ46名の技術士を輩出しました。

さらに、大学では6月に「めざせ！技術士」、7月には「立命技術士懇談会」を開催し、公務員・ゼネコン・コンサルそれぞれの立場で活躍する会員技術士が、学生達に卒業後の技術者としての社会活動のあり方や実社会での経験談をお話ししています。こうした活動内容のご報告と本会へのご意見を賜るため、第16回総会および講演会、親睦会を開催いたします。会員皆様方には奮ってご参加ください。

記

1. 開催日時 : 令和 7 年 5 月 24日(土)
2. 開催場所 : (一社)中央電気倶楽部 (215号室)、親睦会は3F大食堂
3. 開催内容 : 総会 13:00~14:00
講演会 14:00~17:00
親睦会 17:00~18:30
4. 回答期限 : 総会、講演会、親睦会参加の有無は5月19日(月)までに、返信用データにて下記、企画・窓口担当のメールアドレス又はFaxにてご回答ください。

なお、講演会は、会場およびZoomを使用したWeb併用で開催いたします。講演会参加希望者は必ず、連絡用メールアドレスを企画・窓口担当メールアドレス又はFaxでお知らせください。講演会開催の前日に、参加用URLをお知らせします。ただし、講演会は時間の都合上、当日は聴講のみで質問等は受付出来ません。

事務局 企画・窓口担当 E-mail rits.kikaku.mado@gmail.com

URL: <http://alumni.ritsumei.jp/gijutsusikai/>

Fax : 06-6266-2246

立命館大学技術士会 第16回総会 次第
令和7年(2025年)5月24日(土)
13:00 ~ 17:00
(一社)中央電気倶楽部 215号室

第 16 回 総 会 (13:00~14:00)

- ① 開会および司会挨拶…………… 事務局
- ② 会長挨拶…………… 土屋光弘会長
- ③ 議長選出…………… 会則により会長
- ④ 議案審議…………… 1) 第1号議案
第15期事業報告
…事務局(幹事長)
- 2) 第2号議案
第15期決算報告および監査報告
…事務局(幹事長、会計監事)
- 3) 第3号議案
第16期事業計画(案)および予算(案)
…事務局(幹事長)
- 4) 第4号議案
第16期役員人事(案)
…事務局(幹事長)
- ⑤ 閉会の辞…………… 事務局

以上

講 演 会

- ① 大滝 裕一 様 (14:00~15:30)

カップ研究会 世話人

演題：「京都盆地の河川の変遷」
～今出川、小川、四条川はどこを流れていたのか～

- ② 野村 泰稔 様 (15:30~17:00)

立命館大学理工学部 環境都市工学科 教授

演題：「インフラモニタリングから防災予測へ」
～ICTとAIによる次世代社会インフラ管理～

- < 第 2 部 > …… 親睦会 (17:00~18:30)

会 費：1人 5,000円

会場は、中央電気倶楽部 3F 大食堂

講演者紹介および講演概要

講演1. 大滝裕一(おおたき ゆういち)

カッパ研究会 世話人

演題：「京都盆地の河川の変遷」

～今出川、小川、四条川はどこを流れていたのか～

概要： 京都盆地ほど、河川や運河の変遷が激しい内陸都市はない。
かつて、流れていた今出川や小川、四条川はどこへ行ってしまったのか。
古地図などで変遷を俯瞰し、これからの、京都盆地の水環境を考える。

1959年 京都府生まれ

学歴： 1983年 金沢大学大学院建設工学科修士課程修了
技術士(建設部門)

職歴： 元京都府職員(河川、港湾、下水など主に水関係分野)
現在、(株)東京建設コンサルタント 関西本社京都事務所 技師長
カッパ研究会世話人、NPO京都まちづくり技術研究会理事、水資源・環境学会会員、
明日の京都文化遺産プラットフォーム 文化遺産の危機管理研究会会員 他

主な図書：「もっと知りたい！ 水の都 京都」(人文書院、2003)
「京都宇治川探訪」「京都鴨川探訪」「大阪淀川探訪」(人文書院、2007、11、12)
「淀川水系河川絵図集成」(近畿地域づくり研究所、2022)
「京都・鴨川と別子銅山を歩く」(成文堂、水資源・環境学会、2024) 他

講演者紹介および講演概要

講演2. 野村 泰稔(のむら やすとし)

立命館大学理工学部 環境都市工学科 教授
アプライドインフォマティクス研究室

演題：「インフラモニタリングから防災予測へ」 ～ICTとAIによる次世代社会インフラ管理～

概要： 点検車載カメラ映像を活用した橋梁の損傷(ひび割れ・腐食・剥離)検出および進展評価技術をはじめとして、道路上の支障物検出、橋脚画像を基にした3Dモデル化手法など、社会インフラ維持管理におけるAIと画像解析技術の応用について紹介する。さらに、これらの技術を土木分野にとどまらず、防災分野へと展開し、防災気象情報を用いた冬季路面温度の予測や、降水短時間予報と簡易雨量計を組み合わせた局地的降雨量の予測モデルについても紹介する。AIとICTを融合させたこれらの取り組みにより、社会インフラの安全性向上と災害に強い社会の実現に向けた新たな可能性を探る。

学歴： 1998年3月 関西大学総合情報学部総合情報学科 卒業
2000年3月 関西大学大学院総合情報学研究科知識情報学専攻博士課程前期課程 修了
2003年3月 関西大学大学院総合情報学研究科総合情報学専攻博士課程後期課程 修了

役職、研究等2025年度: 立命館大学, 理工学部, 教授
AI・画像解析技術を用いた橋梁の損傷診断・進展評価, 3Dモデル化,
ならびに防災気象情報を活用したインフラ防災支援の研究
2021年度 - 2024年度: 立命館大学, 理工学部, 教授
2004年度 - 2007年度: 関西大学, 神戸大学, 立命館大学にて助教・講師を歴任
2007年度: 米国University of Colorado at Boulderにて客員研究員として滞在
構造ヘルスマニタリング (SHM) や床版損傷の検出法に関する研究に従事.
2023年～2024年 米国University of Central Floridaにて客員教授として在籍

主な図書: AI×防災 -データが紡ぐ未来の安心・安全-
構造物のモニタリング技術
AIのインフラ分野への応用 -地盤・水工・構造・交通計画・施工分野へのAI応用の勘所が分かる-

一般社団法人 中央電気倶楽部案内図

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2丁目1番25号

TEL 06-6345-6351 (代)

FAX 06-6345-6877

- 大阪駅より徒歩12分
JR北新地駅より7分
- 地下鉄四つ橋線
西梅田駅より6分
(堂島地下街南詰
C-93番出口を出る)
- 京阪中之島線
渡辺橋駅より5分
- 印は自動車の一方通行

